

# 令和元年度「みやぎ発展税」の活用実績と成果【概要版】

## I 「みやぎ発展税」(法人事業税の超過課税)の概要

「みやぎ発展税」は、厳しい財政状況の中で、「宮城の将来ビジョン」に掲げた政策推進の基本方向である「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」と「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」に向けた取組を充実・加速させるため、平成20年3月に課税期間を5年間として導入されたものです。

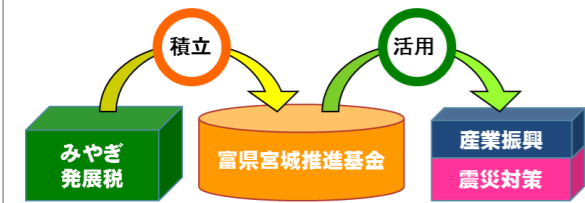
「みやぎ発展税」を財源として、県内総生産10兆円の達成を目指す産業振興施策(「産業振興パッケージ」)と震災時における被害を最小化させる施策(「震災対策パッケージ」)に鋭意取り組んできた結果、自動車関連産業や高度電子機械産業などを中心に企業集積が進んだほか、耐震強化を行った橋梁は、東日本大震災においても落橋することなく緊急輸送道路として機能するなど、多くの成果を生み出すことができました。

平成29年には、課税期間が平成30年2月までとなっていることを踏まえ、これまでの活用事業の実績や成果、県内の経済情勢や県政を取り巻く環境等を総合的に検証しながら、今後のあり方を検討しました。この結果、改定後の「宮城の将来ビジョン」において引き続き目標に掲げた県内総生産10兆円の達成に加え、中小企業・小規模事業者の持続的発展のほか、人手不足への対応など、様々な環境変化により生じる新たな課題の解決に積極的に取り組んでいく必要があったことから、「みやぎ発展税」の課税期間を平成30年3月からさらに5年間延長したところです。

課税期間	第1期:H20.3月～H25.2月 第2期:H25.3月～H30.2月 第3期:H30.3月～R5.2月 (いずれも5年間)
超過税率	「みやぎ発展税」導入時の宮城県県税条例第41条に定める税率(=標準税率)の5%相当額
適用法人	資本金又は出資金の額が1億円を超える法人、若しくは所得金額が年4千万円(収入金額の場合、年3億2千万円)を超える法人等
活用の基本的な考え方	産業振興パッケージ: 県経済の成長を図るための産業振興に関する施策 震災対策パッケージ: 大規模な地震による被害の最小化に関する施策

## II 富県宮城推進基金の概要

▽ 富県宮城推進基金に積み立ててから、活用することで、その収税額及び用途を明確化



【基金の積立額と活用額】

	第1期	第2期	第3期 (H30-R1)	合計
積立額:A	157.7	228.1	98.2	484.1
活用額:B	64.6 (136.3)	162.6 (173.1)	92.8 (175.6)	320.1 (485.0)
A-B	93.1 (21.5)	65.5 (55.0)	5.4 (▲77.4)	164.0 (▲0.9)

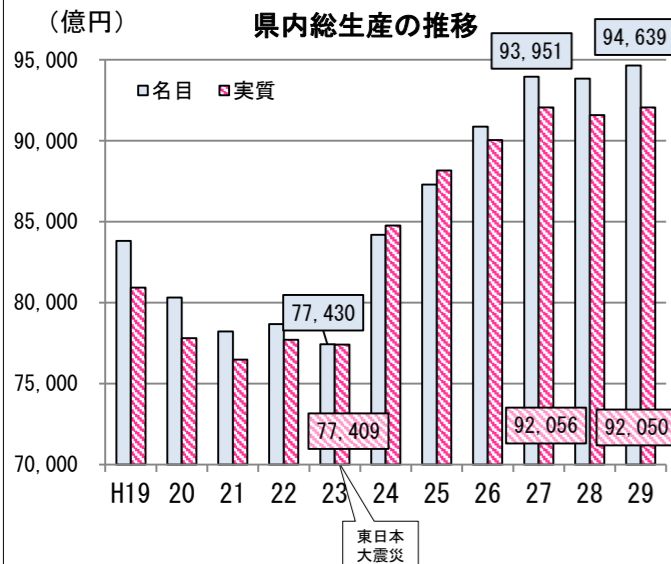
※1 ( )内は、みやぎ企業立地奨励金の活用額を指定年度で整理した参考額(指定の翌期以降に交付した額及び今後交付する見込みの額を含んだもの)  
※2 各項目ごとに1千万円未満を四捨五入しているため、合計額とは合致しない

## III 県内総生産の推移等

### < 県内の経済情勢 >

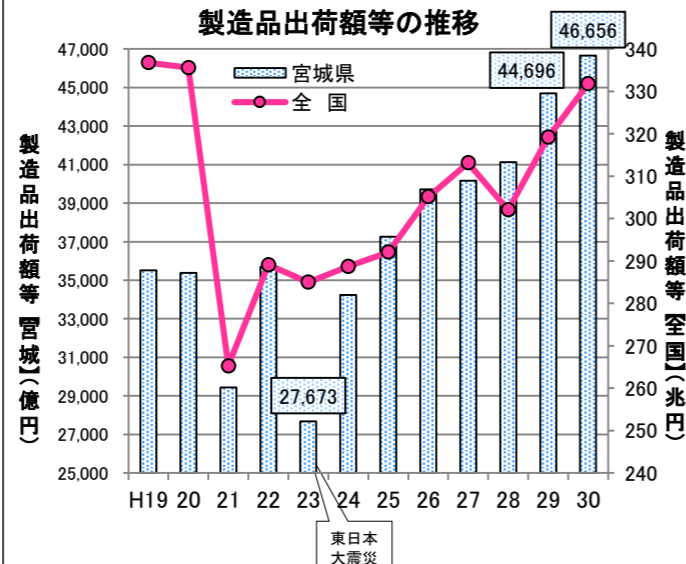
#### ◆ 県内総生産(名目・実質)

・ H29は、発展税を導入したH20以降、名目で過去最高、実質はH27に次ぐ水準となりました。



#### ◆ 製造品出荷額等

・ 震災で大きく落ち込んだ後、着実に回復し、H30は過去最高となりました。



## IV パッケージごとの実績と成果

### 産業振興・震災対策パッケージ合計 [R1活用額:約61億2千万円] [※H20～R1活用額合計:約320億円]

#### 1 産業振興パッケージ [R1活用額:約55億6千万円] [※H20～R1活用額合計:約298億円]

**(1) 企業集積促進** [R1活用額:約47億9千万円]

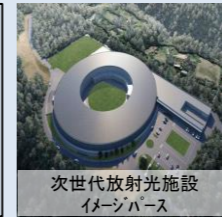
▽ 企業立地奨励金をはじめとする積極的な企業誘致施策を展開し、新たな立地や地元企業の工場の増設等が進捗しました。

- ◆「みやぎ企業立地奨励金事業」(実績・成果等)
  - ・交付件数:26件[R1], 立地件数:171社[H21～R1累計]
  - ・奨励金による新規雇用者数:18,677人[R2.4現在]
- ◆「放射光施設整備費補助事業」(実績・成果等)
  - ・交付額:24億6千万円[R1]
  - ・敷地造成工事が完了し、令和2年3月に基本建屋建築工事に着手[R2.3末現在]

**(2) 技術高度化支援** (旧:中小企業技術高度化支援) (改) [R1活用額:約2億4千万円]

▽ 県内中小企業の競争力強化のため、技術力や研究開発力、営業力等の向上を支援し、取引の創出・拡大につなげました。

- ◆「高度電子機械産業集積促進事業」(実績・成果等)
  - ・展示会出展支援:5回, 19社[R1]
  - ・市場技術セミナーの開催:9回, 645人[R1]
  - ・商談成立件数:335件[H20～R1累計]
- ◆「自動車関連産業特別支援事業」(実績・成果等)
  - ・生産現場改善個別支援:7社, 集合研修:76社[R1]
  - ・商談成立件数:475件[H20～R1累計]



**(3) 中小企業・小規模事業者活性化** (新) [R1活用額:約1億5千万円]

▽ 中小企業・小規模事業者の持続的発展・成長に向け、生産性改善支援、事業承継支援や創業・第二創業の活性化に向けた取組を推進しました。

- ◆「生産現場改善強化支援事業」(実績・成果等)
  - ・生産現場改善支援:18社 [R1]
  - ・生産性向上設備導入等支援:7社[R1]
  - ・現場改善セミナーの開催:4回, 69人[R1]

**(4) 人材育成促進** (旧:人づくり支援) (改) [R1活用額:約9千万円]

▽ 産業界から大学、高校まで一体となり、実践的な研修やものづくり産業等の認知度の向上などの取組を実施し、即戦力となる人材等を育成しました。

- ◆「ものづくり人材育成確保対策事業」(実績・成果等)
  - ・企業向け採用力向上セミナー:72事業所[R1]
  - ・工場見学会:23回, 1,071人[R1]
  - ・キャリアカウンセラー派遣:延べ29校[R1]
  - ・ものづくり産業広報誌「オガール! ACE」:年4回発行[R1]

**(5) 人材確保支援** (新) [R1活用額:約8千万円]

▽ 専門的な知識や経験を有する人材等の県内企業への環流(UIJターン)促進や企業の人材確保に向けた環境整備等を支援しました。

- ◆「宮城UIJターン助成金事業」(実績・成果等)
  - ・助成件数:15件[R1]
  - ・プロフェッショナル人材の採用:82人[H28～R1累計]
  - ※H28・29は(6)地域産業振興促進として実施

**(6) 地域産業振興促進** [R1活用額合計:約2億円]

▽ 地域経済を支える商業の振興や農林水産業の競争力強化、新たな課題等に対しても機動的に事業を展開しました。

- ◆「販路拡大推進支援事業」(実績・成果等)
  - ・個別商談会:バイヤー延べ13社, 184商談[R1]
  - ・集団型商談会:同延べ45社, 418商談[R1]
  - ・商談成立数:1,152件 [H25～R1累計]

#### 2 震災対策パッケージ [R1活用額:約5億6千万円] [※H20～R1活用額合計:約22億円]

**(1) 災害に対応する産業活動基盤の強化** [R1活用額:約4億4千万円]

▽ 多数の方が利用する特定建築物の耐震改修への助成制度の創設等を通し、同建築物の耐震化が着実に進捗しました。

- ◆「高等学校等非構造部材震災対策事業」(実績・成果等)
  - ・撤去・改修工事:13施設, 設計:6施設 [R1]
  - ・柔剣道場や講堂などの天井材や照明器具等の落下被害を未然に防止するため、対象となる46施設のうち40施設で工事完了[R2.3末現在]

**(2) 防災体制の整備** [R1活用額:約1億2千万円]

▽ 防災体制の充実に向け、東日本大震災などの大規模な地震の教訓を生かし、地域の防災対策の中心となる人材の養成等を実施しました。

- ◆「防災指導員養成事業」(実績・成果等)
  - 地域防災リーダー養成講習
  - ・地域防災コース:548人受講[R1]
  - ・企業防災コース:22人受講[R1]
  - ・養成講習等延べ受講者数:延べ10,357人[H20～R1累計]